



静岡市いきもの散策マップ

山原堤コース

むし

アオアジアゲハ



黒地のはねに水色の筋があり、とても速く飛ぶアゲハチョウの仲間です。幼虫はクヌギの葉を食べて育ちます。

オナガアゲハ



黒色のアゲハチョウの仲間。後ろのはねの長い突起が特徴です。主に山地の深緑の雑木林の縁にすみ、幼虫はコクサギを食べます。

カラスアゲハ



4～9月まで3回ほど発生します。花の蜜を好みますが、夏は谷間の湿った道路で給水することもあります。

ジャコウアゲハ



はねを広げると10 cmくらいのやや大型のチョウで、堤防や林の縁などに開けたところで見られます。

クロアゲハ



黒い大型のアゲハチョウで、後ろのはねには突起があり、三日月型の赤い斑紋が目立ちます。幼虫はミカン類、カラタチの葉を食べます。

ナガサキアゲハ



10 cmをこえる大型のチョウで、尾のような突起がありません。ほかのアゲハチョウの仲間のように、幼虫はミカンの仲間を食べます。

モンキアゲハ



大型のアゲハチョウの仲間。後ろのはねの大きな黄白色斑が目立ちます。平地～丘陵地の樹林地にすみ、幼虫はカラスザンショウを食べます。

クロヒカゲ



中型の黒みの強いジャノメチョウの仲間。やや暗い雑木林の中や高木に見られます。成虫は樹液によく集まり、幼虫はササの仲間を食べます。

ヤマトシジミ



人家のまわりでもよく見られます。幼虫はカタバミを食べ、成虫は3～11月に見られます。

ルリシジミ



低地から山地まで見られます。幼虫はマメの仲間をはじめいろいろな植物の花を食べ、成虫は3～10月に見られます。

アサヒナカワトンボ



体長4 cmくらいの、金緑色で細い脚をもつトンボです。オスははねがオレンジ色のものと透明なものがあります。

ミヤマカワトンボ



日本のカワトンボの仲間では最大で、体長は7～8 cmほどになります。赤褐色のはねを持ち、腹部は青味がかかった金属光沢のある体色です。山地の川にすんでいます。

オオシオカラトンボ (オス)



脚が黒く、はねを広げると9 cmをこえるシオカラトンボの仲間です。からだは、オスは全体が黒い、メスは前半が黄色で後半が黒色です。

アブラゼミ



褐色の不透明なはねの大型のゼミです。人里から山地まで広く見られます。

ジョロウグモ



大きな網を張る大型のクモの仲間です。メスが大きく20 mm以上になることもあり、オスは10 mmくらいです。

ワキグロサツマノミダマシ



緑色の腹部の小型のクモの仲間です。日中は葉の裏にかくれていて、夕方に活動をはじめ、網をはりだします。

アクセス情報



- 【バスでのアクセス】
1. しずかつバス清水駅前バスターミナル5番乗場より「山原梅蔭寺線」に乗車。
 2. 「山原」にて下車（清水駅より約17分）。
 3. 山原堤まで、徒歩 約10分。

緊急連絡先

- ・静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・消防 119番
- ・警察 110番

注意事項

- ・ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装、水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・里山には、ハチ、ヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹、花や山菜などを無断で取らないでください。
- ・動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市環境創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
 制作年：平成27年2月

とり・どうぶつ

オオルリ



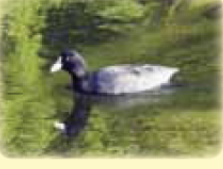
全長17 cmくらいで、繁殖のため、春に東日本に渡ってきます。雄の背中や尾は青い光沢のある青色をしています。

アオサギ



日本で見られるサギの仲間中最も大きくなります。全体的に青みがかった灰色に見え、頭の後ろに長い冠羽があります。

オオバン



東北地方北部より南では1年中見られるが、冬に見られる水鳥です。バンよりやや大きく、くちばしは白色です。

スッポン



柔らかい皮膚に覆われた甲羅をもつカメです。貝や小魚、カエルなどを襲い、食用として古くから人々に親しまれています。

ジョウビタキ



全長14 cmくらいで、翼は黒褐色でまん中あたりには白い斑紋があります。本州では冬に見られます。

ササゴイ



夏鳥として渡ってくる小型のサギで、池や沼、川などにすみ、魚類などを餌にします。

カルガモ (オス)



1年中生息するカモです。オスもメスも同じ色で、くちばしの先が黄色です。

クサガメ



甲長10～25 cmの沼などにすむカメです。頭の側面に黄色の模様があり、甲らには3本の縦すじがあります。

メジロ



全長12 cmくらいで、からだの上面はやや暗めの黄緑色で、眼のまわりは白色、胸は黄色になります。

カワウ



魚を主食とする大型の水鳥です。近年数が減って、あちこちから見られるようになってきました。

コガモ (メス)



冬鳥として、池や沼、川などに渡ってくる小型のカモで、冬に全国に渡ってきます。水草などを食べます。

ニホンイシガメ



日本固有のカメで、河川や湖沼で見られます。おしりの部分の甲羅がギザギザしています。

カワセミ



全長17 cmくらいの水辺にすむ小鳥で、あざやかな水色の体と長いくちばしの特徴です。静岡市の鳥です。

カイツブリ



池や沼などにすむ、ハトより小さな水鳥で、1年中見られます。水中に潜り、魚類、昆虫類、貝類などを食べます。

キンクロハジロ (オス)



冬鳥として渡来するカモの仲間。池、河口、内湾などで見られます。頭の後ろに垂れ下がる冠羽が特徴です。

カジカガエル



山地の清流に住み、平たい体をしていて、石の上などで、澄んだ水で特長のある声で鳴きます。

しょくぶつ

シャガ



アヤメの仲間。山地の林のまわりや道ばたに生えています。4～5月に白色に少し紫がかかった花を咲かせます。

ムラサキケマン



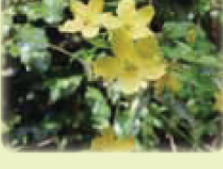
クシの仲間。草地や林のまわりに生えています。4～6月に赤紫色の花を咲かせます。

ヒガンバナ



秋のお彼岸の頃に赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は冬の間だけ見られます。全体に毒があります。

ヤマブキ



バラの仲間。4～5月にオレンジ色をおびた黄色の花を咲かせます。林の中で木漏れ日のあるところで見られます。

さかな

オイカワ



全長10 cmほどの川魚です。繁殖期の5～8月には、オスは水色と桃色の鮮やかな体色になり、ひれは赤色をおびます。

アブラハヤ



体長12 cmほどのコイの仲間。食性は雑食です。体の表面に縦縞が見られます。

シマヨシノボリ



体長6 cmほどのハゼ科の仲間です。主に河川の中下流域に生息します。ほかにミミズ状の模様が見られます。

オオクチバス



特 別外来生物。ブラックバスとも呼ばれ、釣りのための放流で全国に広まった外来種です。池や沼にすみ、他の魚を食べています。

メモ

しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう 検索

静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)

